

田んぼが地域を守る

三沢区域の「田んぼダム」の取組

【農】農業振興課農村環境係 ☎73・9100

近年、全国的に集中豪雨が増え、河川の氾濫や浸水被害などのリスクが高まっています。

三沢区域では令和7年度に「田んぼダム」の取組を始めました。田んぼダムに取り組むのは、令和6年度に開始した花立区域に続いて2区域目です。

田んぼダムとは

「田んぼダム」は、水田の排水マスに排水量を調整するためのV字型のセキ板を設置し、大雨が降ったときに一時的に雨水を水田に溜めることで、河川への急激な流入を抑える仕組みです。普段は農業用の水田として活用されている場所を、大雨時には治水ダムのような働きをさせることで、地域の防災に役立てることができます。

田んぼダムに取り組む地域では、大雨が降ったとき、田んぼダムが一時的に雨水を受け止めることで下流域の川の水位上昇が抑えられる効果があります。

地域全体で豪雨被害を軽減する取組のひとつとして、田んぼダムが注目されています。

三沢区域の取り組み

三沢区域では令和7年度、賛同した農家の皆さんが約11ヘクタールの水田で田んぼダムに取り組みました。

取組に協力している農家の皆さんは「田んぼで地域の役に立てるなら嬉しい。手間もそれほどかからず、営農への影響もない」と語ります。

市では今後、農家の皆さんのご協力をいただきながら田んぼダムの対象地域の拡大を図りたいと考えています。



三沢区域で田んぼダムに取り組む皆さん